



発行所 出雲駐屯地
広報室

第29代第13偵察隊長兼第36代出雲駐屯地司令 宗像秀樹 2等陸佐 着任



宗像 秀樹 (むなかた ひでき)

出身地	千葉県	
生年月日	昭和56年7月生まれ	
主要経歴		
平成17年	防衛大学校卒	
平成18年	第1戦車大隊 (小隊長)	(静岡県)
平成21年	第1機甲教育隊 (区隊長)	(静岡県)
平成22年	第1戦車大隊 (運用訓練幹部)	(静岡県)
平成24年	富士学校 (機甲科部訓練教官)	(静岡県)
平成28年	富士学校 (幹部特修課程)	(静岡県)
平成29年	第2戦車連隊 (第4中隊長)	(北海道)
平成30年	陸上幕僚監部運用支援訓練部訓練課 (訓練制度係)	(東京都)
平成31年	富士学校 (諸職種協同センター訓練班長)	(静岡県)
令和4年	現職	

12月1日、富士学校 諸職種協同センターから宗像秀樹 2等陸佐が新たに第29代第13偵察隊長兼第36代出雲駐屯地司令として着任した。宗像2佐は偵察隊長着任の訓示において、偵察隊長統率方針を「任務即応」、要望事項を「日々前進」「克己」とした。

「己に打ち克つ」「克己」の精神をもって、我々第13偵察隊が築き上げてきた良き伝統を踏襲しつつ、変化を厭わず、古き習慣を刷新する気風を醸成し、「日々前進」していく。これを要望事項とするとともに、私自身も自らの修養に努め、任務に邁進していく」と述べた。

新年の挨拶



第13偵察隊長兼出雲駐屯地司令
2等陸佐 宗像 秀樹

「いずも」をご覧の皆様、明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は出雲駐屯地に対して格別のご厚情を賜り、深く御礼申し上げます。

私は昨年十二月に第十三偵察隊長兼出雲駐屯地司令を拝命し、以来、温かい民情と美しい自然に囲まれ、歴史と伝統あるこの出雲の地において勤務できます喜びを日々実感しているところでもあります。

依然として国際情勢は予断を許さず、国内においては災害は激甚化の傾向がみられます。幸いにも旧年中は大きな災害派遣等もありませんでしたが、駐屯地一同、何時でも出動できる態勢を整えつつ、日々の隊務に精励してきましたところです。

近年は新型コロナウイルス感染症のため、各種行事、イベント等に制約を受け続けて参りましたが、ようやく明るい兆しも見え始め、十月には三年振りとなる出雲市内における駐屯地記念日行事(市中パレード)を実施することが出来、地域の一員として、皆様との融和を図ることが出来ました。これもひとえに平素より駐屯地の活動にご理解いただくとともに、隊員を支えられたご家族や協力関係者の皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝致します。本年は出雲駐屯地創立七十周年を迎えることとなり、駐屯地記念行事もより盛大に実施したいと考えておりますので、皆様には是非ともご来駕いただけますと幸いです。

駐屯地司令として着任した際、駐屯地各隊員には、駐屯地スローガンとして「皆と共に、地域と共に」を挙げました。島根県唯一の陸上自衛隊として、皆様のご期待に沿えるべく、そして、卯の如く更に飛躍できるよう、駐屯地一丸となり任務に邁進していく所存です。

結びにあたり、皆様の今後益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

迎春



新年の挨拶



第304施設隊長
2等陸佐 岩瀬 薫

駐屯地協力団体の皆様方、隊員及びご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

毎年のことですが、昨年も、私たちは、訓練、訓練、訓練の日々を過ごして参りました。その中で、駐屯地協力団体の皆様からの多大なご支援、ご声援が本当に心の支えになりました。また、ご家族の支えがあったからこそ、隊員が不安なく訓練に集中できたものと感謝しています。

さて、最近の世界情勢などを考えると、本年も大変な世の中となると思いますが、私たちは、いつ、何が起きようともすぐに対応し、確実に任務を完遂できるように引き続き厳しい訓練を乗り越えていく所存です。

このためには、地域、ご家族からのご理解が必要不可欠となりますので、皆様と部隊との交流や積極的な広報活動に力を入れていきたいと考えています。

また、本年は、隊員とご家族が今よりも少しでも長く一緒に過ごせるようにワークライフバランスの推進にもチャレンジし、「明るく、楽しい」勤務環境を構築していきたいと思っております。

この一年、皆様とともに歩んでいきたいと思いますので、変わらぬご声援とご理解のほど、よろしくお願ひします。

結びに、令和五年が皆様にとって健やかで実り多き年になることを心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年の挨拶



出雲駐屯地業務隊長
2等陸佐 山田 晃太郎

新年にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

皆様におかれましては出雲駐屯地に対し平素から御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和四年は、コロナ禍を克服し行事を再開することができました。特に、三年ぶりに実施した市中パレードは、天候にも恵まれ、歩道を埋め尽くすほど多くの皆様にご来場いただき、実行委員長として大役を果たした充実感を感じています。

令和五年は、出雲駐屯地創立七十周年という節目の年にふさわしい内容で市中パレードを実施できるよう、行事企画に参画して盛り上げていきたいと思っております。

今年も、皆様にとってよい一年でありますよう祈念申し上げます。

新年の挨拶



第104施設直接支援大隊
第1直接支援隊長
2等陸尉 森末 哲栄

駐屯地協力団体の皆様、隊員及びご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年十二月、第一直接支援隊長として着任し、初めての新年を無事迎えることができましたのも、皆様方の御協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて昨年の隊務を振り返りますと、支援対象部隊に対する恒常的な整備に始まり、大隊長訓練検閲の受閲等、多忙かつ充実した一年ではありましたが、隊一丸となり精進し、駐屯地所在部隊や関係部隊等の多大なるご支援、ご協力により任務に邁進することが出来ました。厚く御礼申し上げます。本年も「整備支援の万全」をモットーにやり遂げる覚悟であります。

最後になりますが、これまでと同様のご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

新年の挨拶



第312基地通信中隊
出雲派遣隊長
2等陸尉 國須 謙育

新年明けましておめでとうございます。無事に新年を迎えることができましたのも駐屯地協力団体の皆様方、駐屯地隊員、ご家族のご支援・ご協力の賜物であると深く感謝しております。
本年も引き続き基通派遣隊一同「駐屯地の常続不中断の通信の確保」及び各種要望に迅速に対応できるよう努力する所存でありますので引き続きご支援・ご協力宜しく願います。

新年の挨拶



第13後方支援隊
第2整備中隊
2等陸尉 大山 将朗

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中もコロナ禍で制約がある中、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。本年も日々精進し、任務の完遂に努めます。

新年の挨拶



第356会計隊
出雲派遣隊長
1等陸尉 矢野 健二

新年明けましておめでとうございます。出雲駐屯地の隊員、そのご家族、駐屯地協力団体の皆様がよく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年三月、出雲派遣隊長として着任し、新年を迎えることができましたのも、皆様方のご協力があったことと深く感謝しております。

さて、昨年の隊務を振り返りますと方面会計隊実務競技会での練成を通じ、個人及び部隊の練度向上を図ることができ、結果も派遣隊の部第三位の成績を収めることができました。隊員達もより一層自信が付き、任務に邁進してくれと期待しています。
本年も引き続き部隊に喜ばれる仕事をしていくため、派遣隊員一同任務に邁進する所存でありますのでご支援、ご協力の程よろしく願います。
最後に今年一年が皆様にとって良き一年となることを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年の挨拶



第132地区警務隊
出雲連絡班長
2等陸尉 渡邊 貴仁

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。
旧年中はコロナ禍の各種制約がある中、変わらぬご支援ご協力を賜りありがとうございます。
警務隊は昨年引き続き本年も益々、防犯活動に力を入れていきたいと思っております。
防犯活動の中でも、防犯資料提供、防犯巡察及び防犯講話を主に防犯活動を実施していきたいと思っております。
事件事故の発生を防止するためには、部隊の皆様のご協力が不可欠です。
部隊の皆様と一致協力して一件でも多くの事件事故の発生を防止していきたいと思っておりますので、引き続きご協力よろしく願います。
結びにあたり本年が皆さまにとって幸多き年となりますよう祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。



出雲駐屯地創設69周年記念行事

出雲駐屯地は令和4年10月8日、出雲駐屯地創設69周年記念行事（市中パレード）を行いました。3年ぶりの市中パレードは、多くの方がお越しいただき、地域住民の方々と、より一層の理解と信頼関係の強化を図ることができました。

また、10月9日にはオートタムフェスタ（駐屯地一般開放）を行いました、たくさんの方々に来駐いただきました。オートバイドリル、装備品展示、軽装甲機動車体験試乗を行い、初めて見る車両に興味を持っていただき、大はしゃぎで車に乗り込む様子が見られ、大変賑わいました。



市中パレード



オートタムフェスタ

出雲駐屯地年始行事

出雲駐屯地は令和5年1月16日、出雲駐屯地年始行事として抱負発表と部隊対抗綱引きを行いました。

抱負発表では、18歳から20歳の隊員、今年度新たに部隊に配属された隊員が、壇上より新年にあたっての抱負を発表し、一人一人が将来の抱負や意気込みを発表しました。

部隊対抗綱引きでは、若年隊員、駐屯各部隊がチームを編成し、7チームによるトーナメント戦が行われました。1試合3本勝負で競い合い、各チーム白熱した戦いを繰り広げられました。

▶ 抱負発表



▼ 部隊対抗綱引き ▼



▲ 第34回出雲全日本大学選抜駅伝支援



▲ 出雲産業未来博



▲ 浜田BB大鍋フェスティバル



▲ 雇用協力企業駐屯地見学

広報フォトギャラリー